

2017年6月22日

SEAJ 正会員・賛助会員
総合窓口ご担当者の皆様

(一社) 日本半導体製造装置協会
技術部会長 田中 潔

SEAJ 装置制御技術専門委員会への委員推薦のお願い

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、SEAJ 技術部会のもとで活動してきました「装置制御技術専門委員会」は本年5月9日で2年間の活動を終了いたしました。活動成果として、「装置制御の中長期的な進化の方向性」を提言としました。この成果をベースとして、新しい活動のため再度組織化を行いたいと思います。

今後この技術分野の重要性はますます高まると認識しており、委員の改選期を迎えるにあたり、これまでご参加いただいた企業をはじめ、これまで参加いただけなかった関連の製造装置メーカー、搬送装置メーカー、コンポーネントメーカーの方々に加わって頂いて活動を充実させていきたいと考えております。

つきましては、貴社のご専門の方にご参加をお願い致したくご依頼申し上げる次第です。なお、活動概要については以下をご参照下さい。

敬 具

【「装置制御技術専門委員会」の活動概要】

●活動背景

これまで半導体生産にIT技術を活用するEES (Equipment Engineering System) などを含むe-Manufacturing が定着してきた。これがさらに高度化するための装置側の活動として、装置単体の安定稼働や稼働率向上、電力管理に繋がる各種制御を発展させ、工場全体の運営に寄与することを求められている。

SEAJ2020年プロジェクトでも掲げられたように、Fab+IoT+AIが組み合わせたFabIA構想へ向けた生産性向上のための技術動向を共有する。その中で装置制御技術専門委員会は、ユーザー個々の嗜好を反映した“マスカスタマイゼーション”に着目してきた。成熟した半導体産業において個々の人間そのものを重視した生産技術により、優秀・有能な人材を維持・確保することは引き続き課題となっている。

●活動目的

半導体製造装置への (IT 技術活用動向を中心とした) 装置制御技術に関する海外の動向も注視したトレンド収集、検討と発信を行う。またユーザーや関連業界との交流、各種技術講演会を検討、実施する。前委員会の活動テーマを焦点に検討を行うことで今後の方向性を調査・提言する。

●活動内容

- (1)FDC(Fault Detection and Classification)、故障予知など装置品質保証及び維持に関する技術検討
- (2)IoT/M2Mに関連する通信やセンシング、VM (Virtual metrology)、AIなど高度な制御技術の調査、検討
- (3)上記に関わる装置周辺技術 (コンポーネント、各種ソフトウェア) の調査、検討

●委員募集にあたって

当専門委員会では、活動テーマに関連する装置制御やこれに関わるソフトウェア、コンポーネントの高度化に関心がある方を広く募集しております。

●委員任期

2017/7 ~ 2019/3

*ご依頼事項: 『装置制御技術専門委員会』委員選任のお願い

- ・添付の委員届に必要な事項をご記入の上、配信メールに返信いただくか、件名を「**SEAJ 装置制御技術専門委員届**」として info@seaj.or.jp 宛にお送りください。(一社一名の限定はありませんので、複数名の方の応募も可能です)

- ・回答期限: 2017年6月30日(金) ※第一回装置制御技術専門委員会: 7月5日(水)開催予定

*お問合せ先: SEAJ 総務部 星野・後藤 TEL: 03-32561-8262

以上